

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里 (かざり)
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 2 年 7 月 (着任 6 ヶ月)
主な活動	<b>1. お茶農家さんへのインタビュー記事をエイゴで公開！</b> <b>2. 熊本県南阿蘇村の地域おこし協力隊と交流</b>

### 1. お茶農家さんへのインタビュー記事をエイゴで公開！

2 月に穎娃町青戸のお茶農家さんにご協力いただき、2 時間ほどインタビューをさせていただきました。その時の取材の様子をまとめた記事が「南九州市の観光情報サイト EIGO | エイゴ」にて公開されています。

取材させていただいた上村あゆみさんは、穎娃町出身。高校卒業後上京し、十数年後、地元へ U ターン。現在は旦那さんと協力しながら、お茶農家として暮らしています。

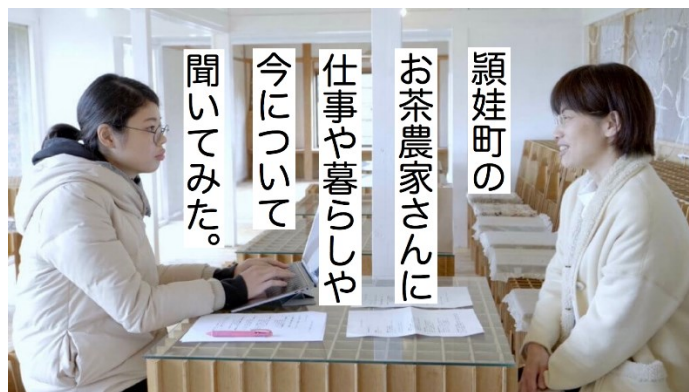
はじめはお茶農家さんの仕事内容や穎娃町での暮らしについて質問する予定でしたが、あゆみさんの経歴や考えていることが面白くて、上京した時の心境や、都会での暮らしと現在の穎娃町での暮らしの違いなど、様々な角度からお話しを伺うことが出来ました。

公開をお知らせした SNS では地元の方から「読み応えがある」「これからも南九州市の良さなどを発信してください」と嬉しい感想をもらい、ホッとしました。よかったらぜひご覧ください。

タイトル：「一周回って帰ってきたような感じです」

鹿児島県穎娃町でお茶農家として暮らす上村あゆみさんにロングインタビュー！

URL：<https://ei-go.jp/otyainterview>



## 2. 熊本県南阿蘇村の地域おこし協力隊と交流

7月半ばに熊本県南阿蘇村の地域おこし協力隊が、視察の為に南九州市を訪れました。きっかけは穎娃町エリアの協力隊受け入れや市内の協力隊のサポートを行っているNPO法人穎娃おこそ会の加藤さんだったようです。

新型コロナウイルス感染症の影響から他県の協力隊と接触する機会がめっきり減っていた分、久しぶりの交流がとても楽しかったです。地域おこし協力隊は自治体によって運用方法が異なるので、他自治体で活動する協力隊の生の声を聞くことは、自分自身を客観的に見つめなおすことに繋がります。また他地域の活動内容から刺激をもらったり、協力隊卒業後の生業づくりのヒントをもらったりすることも多いです。

偶然にも、南阿蘇村の地域おこし協力隊が南九州市を訪れた翌週に、熊本県八代市を訪れる予定があったので、少し足を延ばして南阿蘇村まで行くことに。初めての南阿蘇村は山が美しく、鹿児島島の地形との違いが面白かったです。

南阿蘇村では、役場の敷地内にある協力隊の事務所を見学させていただいたり、空き家バンクの現地調査に同行させてもらったりしました。南阿蘇村の空き家バンクに登録されている建物や住居はもちろんですが、別荘など大型の建物も多く、南九州市が抱える空き家問題との違いを肌で感じることができました。

宿泊は南阿蘇村の協力隊が運営しているゲストハウスにて。こちらも別荘を改装しているとのことで、建物発見～今後の展望など様々なお話を伺いました。南阿蘇村で受けた刺激を、南九州市での活動に活かせるように、また少しずつ進めていけたらと思います。

